

みんなの協力で、子どもたちが心のケアを受けられる社会へ。



サポチル

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会

サポチル関東 事務局

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-332

第一経営ビル1階 こうぬま心理相談室内

事務局 E-mail: info-kanto@sacp.jp

研修担当 E-mail: kanto.kenshu@sacp.jp

Twitter: [@info_kanto](https://twitter.com/info_kanto)

URL: <http://sacp.jp/>

サポチル関東主催 <新企画> 青年期アセスメントセミナー

子どもから大人への移行期にあたる青年期のケースでは、クライアントの自立性や内面への関心にかなり幅があります。心理療法の導入に向けてどのようなアセスメントが望まれるのでしょうか。

本セミナーでは、2回シリーズで、青年期(中学生～20代)の精神分析的な心理療法のアセスメント段階に焦点をあてて、アセスメントの基本から情緒的な接触の可能性、技法の選択などについても考えていきます。さらにセラピストごとのスタイルや方法、心理療法を導入しない方がよい場合の判断など、頻出する臨床課題やジレンマについても触れ、ディスカッションで検討していきます。

講師には、英国タビストック・クリニック成人部門で学ばれた庄司剛先生をお招きします。1日目は講義と質疑応答。2日目は青年期の事例について、グループディスカッションを通して検討します。今回は、高校生～20代前半の青年期事例を受講者から募集します。

理論と臨床がつながり、初学者の方から経験者まで幅広い臨床家にとって実践的な学びとなるでしょう。9月の2日間、青年期のケースについて理解をさらに深めてみませんか。

講師： 庄司 剛 先生（北参道こころの診療所）

開催： 東京都内会場（代々木駅周辺）

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場の換気や参加者同士の距離を確保した状態で対面開催いたします。

※感染が拡大し緊急事態宣言が出た場合には、オンライン開催を検討いたします。その際は、事前にご連絡いたします。

日時： 【第1回：講義】 2022年9月 1日（木） 18:30～20:00

【第2回：事例検討】 2022年9月15日（木） 18:30～20:30

対象： 臨床心理士、公認心理師、医師、それに準ずる専門家

青年期を対象にした精神分析的な心理療法を行っている方、または関心のある方

募集人数： 20名

受講料： 一般 7,000円 サポチル会員 6,000円

※基本的には先着順ですが、人数が多数集まった場合はサポチル会員の方を優先します。ご関心のある方は早めのお申込みをお願い致します。

■講師 庄司 剛 先生（第1回目講師、第2回目事例コメンテーター）

筑波大学医学専門学群卒業。東京大学医学部附属病院心療内科、長谷川病院精神科を経て、2008-2013年ロンドン、タビストッククリニック成人部門に留学。帰国後心の杜・新宿クリニックに勤務。2021年4月より北参道こころの診療所院長。著書『知らない自分に出会う精神分析の世界』（幻冬舎）。

■申込方法

1. 下記のURLから、氏名・メールなど必要事項を記入の上送信してください。

<https://forms.gle/dBt1cyUSwL7YBqfr9>

2. 参加申込メールの確認後、研修担当者より、「申込受付メール」にて振込先口座および振込期日をお知らせします。

受講料 一般7,000円（サポチル会員6,000円）

※期日までに未納の場合は、お申込みはキャンセルとして取り扱わせていただきます。

※お振込み後、受講生の事情でキャンセルする場合、受講料の返金には応じられません。

3. 受講料の振込を確認後、事務局より「振込確認＋受講受理完了メール」をお送りします。



■お問い合わせ先 kanto.kenshu@sacp.jp

締め切りは2022年8月18日（木）※定員になり次第締め切ります